

## 2021 年度 第 1 回定例理事会議事録

日 時:2021 年 4 月 20 日 13:30-14:35

場 所: ピアマリン 1 階 日本人会ミーティングルーム

会議出席者:(理事)16 名 (監事)2 名 (領事館)1 名 (傍聴) 事務局 2 名

(欠席) 理事 1 名 (会議室出席: 15 名、Zoom 参加者:4 名)

### 議 題:

#### 1. 2021 年度各部担当理事について(佐藤会長)

今年度の各部担当理事について『2021 年度 日本人会理事会名簿』(別添参照)でご説明がある。昨年に続き連携統括を敷き、学校支援・ニューノーマル・全体管理をそれぞれ 2 つの部が協力して活動して頂くことを基本としたい。また、文化部の活動は女性によるコミュニティーへのリードが必要とされる場面が多いので、渉外広報部の理事の方々からのサポートをお願いします。

#### 2. 今年度理事会開催日程

従前より毎月第 3 木曜日の午後 1 時半開催としていた。今年度もこれを踏襲したい、との提案に、全理事から都合をつけるとの合意を頂いた。また、その前日には事前準備会議を会長、副会長、総務部長と行うこととする。5 月 19 日(水)は佐藤会長が日本から戻られる日程と重なるので、9:15 (グアム時間)ZOOM にて事前準備会議を開催予定。

#### 3. 2020 年度会計報告(八巻部長)

総会で既に報告済であるが、新体制での再確認が必要となりご説明いただく。

なお、学校分の決算報告で減価償却が予算と決算で\$5 万の開きがある件は、校舎の償却分\$5 万が 2019 年度で完了していたが、2020 年度予算に誤って繰り越し計上されていたことが原因とのご説明があった。

(佐藤会長)特に、日本人学校の決算において PPP で\$120K、外務省補助金で\$180K の合計 \$300K もの補助が頂けたことで黒字となっているが、この支援金がなければ\$200K の赤字決算であり、この状態が続けば 3 年で貯えを使い果たす可能性があった。学校を存続させるという日本人会としての重要な使命があり、年度当初に理事の皆様全体感を掴んで頂きたいとの考えから今般、八巻部長に再度ご説明をお願いしました。

(栗田監事)学校の PPP 確保については FHB として窓口となり、着金するまで気が抜けず、ハワイの本店と徹底したチェックを繰返してプロセス毎に完了を確認してきた。こうした取組みにおいて、グアム日本人学校のオーナーがグアム日本人会であるのか?との誤解があった。この機会に理事の皆様には正しい理解をお願いしたい。グアム日本人会は学校のオーナーではなく、学校の設立時に尽

力し、現在に至るまで長きにわたり学校を支えてきた云わば、“学校が心配でしょうがない、とつても口煩い支援者”という立場なのです。

#### 4. 2021 年度各部活動計画ならびに予算案作成について

今年度も引続き、2つの部が協力して連携統括のテーマに取り組んで行く。5月の理事会までに各部の活動計画と予算案作成を完了し、理事会で発表をお願いしたい。それまでの間、2つの部でよく打合せをし、連携した計画策定と予算案の作成を進めて行って頂きたい。

昨年は残念ながら秋祭りを中止せざるを得なかった。今年度も新型コロナ感染規制を考えると、秋祭りの開催は極めて厳しい状況である。こうした中、領事館から有難いご提案をいただき、完全なる感染防止対策を前提にした会場設営で日本文化を紹介するというイベント費用について4.5百万、さらに、一昨年のマグロ解体ショーをイメージして、日本食を当地で紹介するというイベント費用として2.5百万円、合計7百万円の政府支援を現在確保頂いている。しかしながら、これは予算化されただけであって、今後このメンバーでしっかりした企画を練り上げ、運営計画を策定し、実際にこのイベントを成功させなければ7百万円の政府支援は得られない。これまでは青年部が中心となり秋祭りを企画運営してきたが、今年度はグアム日本人会理事会の全ての部が連携統括を活用して新たな秋祭りの開催を目指す取組みが大変重要となる。

(尾形首席)まさにその通り。グアム日本人会としてしっかり企画し、運営をやり遂げ日本文化の紹介のイベントを成功させなければ、この7百万円の政府支援は実現しない。領事館も全面的にバックアップをするので、皆さんのお力でぜひ成功に導いてください。

(各理事)

- ・5月の理事会までに秋祭りの企画を各部が立てるといことか。
- ・昨年は激しい変化の1年でもあり、今年どうしたらよいか判断が難しい。
- ・経験の浅い理事もおり、ベテランの理事から各部に対してアドバイスやアイデアを寄せて頂きたい。

(議論の方向性)

- ・基本は各部が従前の取組み実績をベースに今年度どうするのかを企画し、計画と予算案を策定。
- ・加えて、新たな秋祭りの持ち方については各部からもアイデアを募りたい。例えば渉外広報部を例にとると、従来から渉外広報部は秋祭りの広告宣伝については強力にサポートをしてくれていた訳であり、その切り口で新たな秋祭りをどのように盛り上げるかといったアイデアを頂きたい。
- ・昨年ホームページを刷新して大変好評でもあり、もう1年紙媒体の発行を見合わせるのか、とか、ホームページの改善をどのようにやり続けるのか、といったテーマで、連携統括の2つの部で議論することから始めたらどうか。また、会長や他の理事も喜んで議論をサポートさせて頂く。
- ・連携統括の2つの部に限らず、この理事会の全てのメンバーが協力して各部のアイデアをサポートしましょう。また理事会のOBやOGは今でも多くの方々が親身になって日本人会をサポート頂いており、こうした有難いお力をお借りしながら、皆で取組んで参りましょう。

以上